

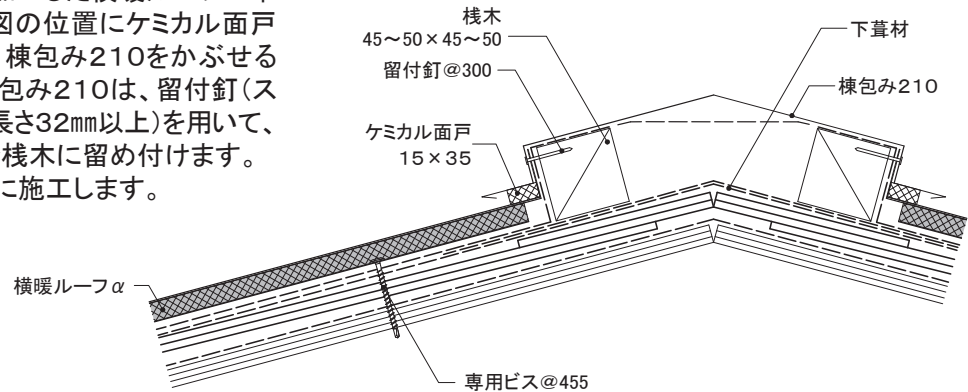
# 横暖ルーフα

工法	既存屋根材
重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

## 7) 隅棟部

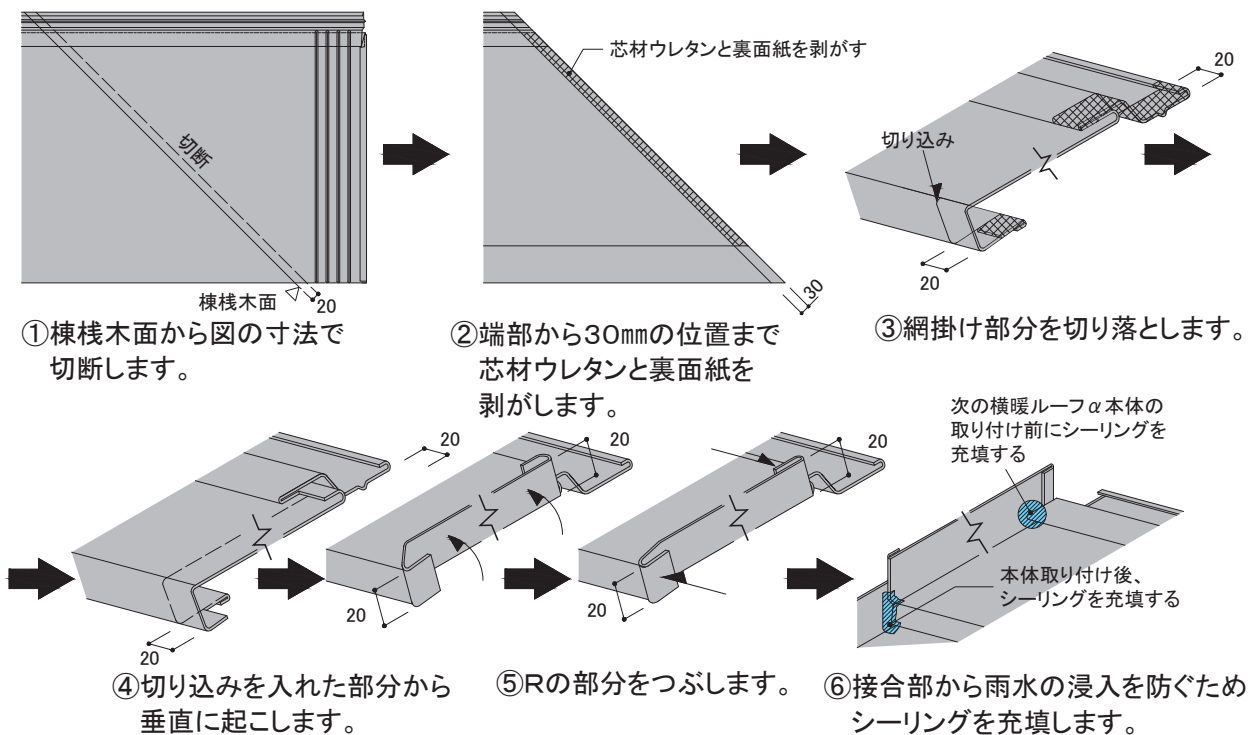
## ① 棟包み210

- 既存屋根材に、下葺材を張ります。
- 桟木45～50mm×45～50mmを外側2ヶ所に取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。  
※工事中は棟包み210に乗らないでください。工具・部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
- 隅棟部は図のように加工した横暖ルーフα本体を施工し、本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、棟包み210をかぶせるように施工します。棟包み210は、留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、300mm以下の間隔で桟木に留め付けます。
- 剣先210は図のように施工します。



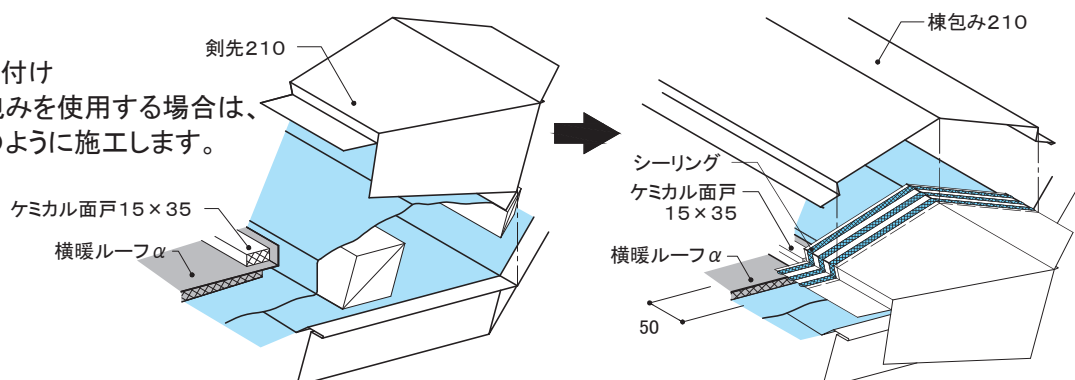
### ■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα本体の隅棟部分は、図のように加工します。



### ■ 剣先の取り付け

- 隅棟に棟包みを使用する場合は、剣先を図のように施工します。



設計  
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法  
外壁リフォーム

モエンサイディング  
重ね張り工法

モエンサイディング  
張り替え工法

センターサイディング  
重ね張り工法

設計  
屋根リフォーム

センタールーフ  
重ね葺き工法

アルマ  
重ね葺き工法

参考資料